

## 花島小学校の統合について

○成果 ▲課題

## 1 「教職員対象のアンケート調査」(統合後5カ月：平成18年8月実施)

○統合校の変化について、最も多かった意見は以下のとおりであった。(3段階評価)

・児童の人間関係	「よい影響が見られた」	86%
・学習活動	「よい影響が見られた」	71%
・学校行事	「よい影響が見られた」	100%
・特別活動	「よい影響が見られた」	71%
・学級の複数化	「とてもよいことだ」	86%
・学校行事の教員運営	「負担が軽減された」	86%
・学年・学級経営	「落ち着いた」	86%

▲校務分掌の負担については、「軽減された」57%、「今までと変わらない」43%で半々であった。

## 2 「開校当時を知る教職員への聞き取り調査」(統合後2年5カ月：平成20年8月実施)

○職員が適正な配置になったことで、きめこまやかな指導をする少人数指導担当教員が配置できた。加配教員については、大変助かった。

○学校運営面でも校務分掌が軽減され、子どもたちに接する時間的・精神的ゆとりができ、多面から対応することが出来た。

▲統廃合の計画については、学校行事の運営や備品の整理、引越しの段取り等を考え、少なくとも1年以上前に知らせる必要がある。(花島小は、9カ月前に知らされた。)

▲新年度よりスムーズに開校するためには、統合前に教育課程編成や事務処理などの打合せや会議を十分行っていく必要がある。(保護者会同士の打合せも同様に)

## 3 「開校当時を知る教職員への聞き取り調査」(統合後4年8カ月：平成22年11月実施)

○低学年は統合後すぐに一緒に遊ぶ姿が見られ、交流を深めていった。

○統合後、3年目から新しい校舎に移り、高学年も落ち着いた環境で、のびのびと人間関係を育み、学級活動等で活躍するようになった。

▲子どもたちは、統合前に交流はしていたものの、行事や学習において混じり合っとうまくいくには少し時間がかかった。統合後1～2年目は環境の変化もあり、高学年は旧校意識が残っていて馴染めないところもあった。

▲保護者会・PTAといった組織が一緒になることについては、今までの歴史ややり方の違いがあったことから時間がかかった。プロジェクトチームを作り、早く一つになろうと改善していく中で、12月にPTA組織が立ち上がった。

#### 4 「地元説明会」（平成23年2月25日）

##### （1）花島小学校校長から

- ・花島小は現在統合5年目だが、私は統合4年目に赴任した2代目校長である。お聞きになりたいのは、端的に言えば統合して良かったか悪かったかということかと思うが、結果を見ると統合して良かったのではないかと思う。私が赴任したのは新しい校舎に入って2年目であったが、新しい校舎で感じが良く、学級数が増えて活気が漲り、いい学校になっていると思う。統合当時については体験していないので聞いた話になるが、花見川四小と五小は隣にあったとはいえ、それぞれの学校文化があったものが一緒になることで子どもたちの中にも不協和音があったそうだが、それについては子どもたち・地域・保護者が時間をかけて準備をしていくことで十分に統合についていい方法を考えていくことが必要だったのかと思う。現状は非常にいい状態であると報告させていただく。

##### （2）保護者（4年生で統合、現在花見川二中に通う子どもをもつ）の意見

- ・3年生くらいから子どもたちの中で色々な話や噂が出て、保護者なりに「こうなんだよ」と説明をするが、落ち着かないまま4年生を迎えた。私が見た限りでは、何か起きたわけではなかったが、4年生は落ち着かないまま過ぎた。そして、5年生でクラス替えがあり落ち着いたかなと思ったら6年生になって卒業、という感じだった。不安な時期に落ち着かないのは、小学生だけではなく、中学生ももちろんそうだろう。統合はいいが、落ち着きが保たれればいいかなと思う。その辺りをよろしくお願いしたい。

#### 5 花島小の統合における成果と課題を生かした第二次の取り組み

##### （1）統合準備会を設置しての協議を行う。

- ・定期的な会議の開催（5回） ※適宜、担当者同士で会議をもつ
- ・学校、保護者、教育委員会との情報の共有化
- ・周知のための「統合準備会だより」の発行

##### （2）十分な準備期間をとる。（1年半～2年）

- ・子ども・教職員・保護者同士の交流
- ・円滑な開校に向けての準備（教育内容のすり合わせ、引越し、保護者会の統合等）

##### （3）加配教員等の配置（学校適正配置に伴う環境の変化等に対応）

- ・非常勤教員
- ・スクールカウンセラー
- ・統合校安全指導員（統合に伴うスクールガードアドバイザー）